

たけちのみるひと あふみ なる みやこ  
高市古人、近江の旧き堵を感傷して作る歌

或書に云はく高市連黒人なりといふ  
い たけちのみるひと

三二番

いにしへ

ひと われ

古の人<sup>ひと</sup>に我<sup>われ</sup>あれや

ささなみ

楽浪の古<sup>ふる</sup>き京<sup>みやこ</sup>を

み

かな

見れば悲<sup>かな</sup>しき

三三番

ささなみ

くに

楽浪の国<sup>くに</sup>つ御神<sup>みかみ</sup>の

みかみ

うらさびて

あ

荒れたる京<sup>みやこ</sup>

み

かな

見れば悲<sup>かな</sup>しも